

平成30年7月豪雨災害対策の推進に関する決議

本年7月5日から7日にかけて、三原市では、梅雨前線の影響による集中豪雨に見舞われ、3日間の降水量が、気象庁の統計開始以来の最高値となる426mmを記録した。この平成30年7月豪雨は大雨特別警報の発令にも至り、市内各所で土砂災害や河川の氾濫による浸水被害を引き起こした。その結果、8名もの尊い命が奪われ、多数の住家、農地、公共施設等が甚大な被害を受けることとなった。

まず、この度の豪雨により亡くなられた方々に対し、深く哀悼の意を表するとともに、そのご遺族と被災された多くの方々のご心労に対し、心からお見舞い申し上げる。

また、今回の災害に当たり、自衛隊や他の自治体などのあらゆる機関から、献身的な支援や義援金をいただくなど、全国各地から温かい支援の手が差し伸べられている。

さらに、各地から駆け付けてくださったボランティアの皆様には、猛暑のなか、家屋や宅地に流れ込んだ土砂の撤去などにご尽力をいただき、復旧への大きな後押しをいただいている。

本市議会は、このような災害発生直後から本市に寄せられた多くの支援と善意に深く感謝するとともに、被災された方々が一日も早く、安心した生活を取り戻せるよう災害の早期復旧と更なる安心安全なまちづくりに不断の努力と強い意志を持って取り組んでいくことを表明し、ここに決議する。

平成30年10月9日

三 原 市 議 会